

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二発電所  
設置変更許可申請（標準応答スペクトル<sup>1</sup>の規制への取り入れ））
2. 日時：令和5年9月25日 16時30分～16時40分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官※、宮本上席安全審査官、熊谷主任安全審査官、  
藤原主任安全審査官、小野安全審査官、田代審査チーム員

日本原子力発電株式会社：

発電管理室 部長、他4名

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

## 6. その他

提出資料：

- （1）東海第二発電所 標準応答スペクトルの規制への取り入れに伴う改正規則等への適合性について（S-2-1（改4））
- （2）東海第二発電所 指摘事項に対する回答一覧表（震源を特定せず策定する地震動）（S-6（改3））

以上

---

<sup>1</sup> 「震源を特定せず策定する地震動に関する検討チーム」の検討結果において「震源を特定せず策定する地震動（全国共通）」として取りまとめた標準応答スペクトルをいう。

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。規制庁の宇野です。それでは東海第2発電所のトップでせ ずのヒアリングを開始したいと思います。説明をお願いします。
0:00:13	はい。日本原電の平井でございます。それでは資料についてご説 明させていただきます。資料としましてはですね、S-6としてコ メントリストと、あとコメントを反映したS-2-1のまとめ資料 をご用意しております。
0:00:27	まずS-6のコメントリストで4ページお願いいたします。
0:00:34	こちらナンバー34ということで、コメント内容としましてはです ね、弾性設計地震動のSD32に対して基準地震動S案を踏まえて 設定
0:00:45	て大洲の要否についてですね前回のヒアリングで議論させていた だきまして、その内容を踏まえてですね、回答内容としまして は、SE30設定において、基準地震動Sを配慮している旨がわか るよう、記載の充実化を行ってございます。
0:01:00	資料の反映箇所としましてはS-2-1の東芝できます7ページお 願いいたします。
0:01:09	こちらがですね弾性設計地震動の数字に関する設計方針を記載し てる所になってますけれども、まず一番上の前段でですね許可申 請書における設計方針について記載しておりまして、
0:01:22	中頃ですね、標準応答スペクトルを考慮した弾性設計用地震動S D32は、黄色ハッチングしてるところですけど機器や申請書の設 計方針に基づき係数0. を乗じて作成していると。
0:01:34	この際、弾性設計地震動S d-D湾と同様に基準地震動Sは概ね 下回らないよう、配慮するというので、
0:01:42	記載の充実化をしてございます。弾性設計用地震動SD32と基準 地震動SRの比較図を、次の次のページ、通し9ページですね、 記載しておりまして、
0:01:54	基準地震動SIに対して
0:01:57	SD32号を概ね上回っているような形で案図を載せてございま す。
0:02:03	この内容を踏まえまして13ページからですね、
0:02:09	設計方針として改めてちょっと記載してございますけれども、
0:02:15	ちゅ耐震構造として14ページお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:21	耐震構造の設計方針として中頃また以降ですね、弾性設計用地震動SDに関して記載してまして、さらにですね、応答スペクトルに基づく地震動評価と、
0:02:33	による基準地震動S <sub>s</sub> -D湾と30に対しては、ほんなら、基準地震動Sを踏まえて設定するというので、設計方針を整理してございます。
0:02:45	そのあと具体的にはというところで、こちら
0:02:50	断層はと、分けて書いてあるんですけどもこちらについては、こういう的判断より、基準地震動S <sub>s</sub> の断層版については0.5を乗じて、
0:03:01	基準地震動S <sub>s</sub> -D湾と30に対してはSを踏まえて
0:03:06	設計すると、設定するというので記載してございます。
0:03:11	ページめくっていただいて、
0:03:15	20ページからがですね動的地震量に関する設計方針として記載してまして、具体的には21ページ、お願いいたします。
0:03:24	こちら前段の部分ですけど先ほどの設計方針と同様ですねさらに応答スペックに基づく地震動評価等による基準地震動S <sub>s</sub> -D案と30に対しては、ホンダでS、基準地震動Sアノ、
0:03:36	応答スペクトルを概ね下回らないよう配慮した値とするということで整理させていただいてございます。
0:03:43	回答としては以上になります。
0:03:47	はい、規制庁のでそれでは江藤規制庁から表確認をしたいと思えます。
0:03:53	規制庁の奈須すいません最初、私もぱっと見た時、
0:03:58	コメント回答の方だとちょっと、
0:04:00	本文テンパチ事故をどうするのかわからなかったんですけど
0:04:04	追加するというので、理解しましたこれあれですかね。
0:04:09	ええ。
0:04:10	当時、
0:04:11	次回の補正予定のときに、こちらの部分を変更して、記載するというのでこれ以外に関してプラント関係での変更っていうのはないですよ。
0:04:25	日本原電ヒライですこれ、これ以外では、特に変更はございません。規制庁ですわかりました有賀増井のためですけど、点、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:34	本文テンパチだけじゃなくて天候とか. 11 もないっちゅうことでよろしいですね。
0:04:42	現在ヒライですご認識の通りでございます。あ、規制庁です承知いたしました。はい。私からの確認は以上です。
0:05:01	町内側からの確認は以上になりますけど天田さん何かございますか。
0:05:08	あ、タムラです特にありません。
0:05:20	はい。規制庁のオノですそれでは本日のヒアリング終了したいと思います。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。